

# キャリア・コンサルティング技能検定1級 学科・論述・面接試験 体験記

平成28年3月26日

1級受検番号 NO 03F1620009 氏名 竹内 雅彦

## 1 キャリコン1級を目指した経緯

- ・私は企業で人事・人財開発の仕事をしています。花田先生（慶応大学）の「キャリアアドバイザー講座」で勉強し、社内でキャリア研修を行い、そのフォローで毎年数十名の個別面談を行っています。2012年3月に2級に合格したので、合格後3年経過する2015年度には1級を受検しようとしていました。

## 2 試験に向けた準備（春～10月）

- ・2015年3月下旬に、1級第4回の検定結果からどのような勉強をしたらいいかを調べました。7月に平木典子先生の「心理臨床スーパービジョン」を読んでまとめ、指導者としての心得を自分なりに感じることができました。
- ・学科では、渡辺三枝子先生の「新版キャリアの心理学」を読みました（8～9月）。
- ・10月に「1級キャリア・コンサルティング技能士の会」の対策講座があることを知り、『キャリアの青本Ⅱ』を買って、受講しました。この講座では、(1)1級キャリコンに求められること、検定の意図、(2)学科、論述、面接のそれぞれで何を準備すればいいか、(3)システマチック・アプローチやコーヒーカップ理論などを実技でどう応用すればいいのか、など多くのことが得られました。

## 3 学科、論述の準備について（11月以降）

### (1) 学科

- ・過去問、青本、労働経済白書などを中心に勉強しました。
- ・「1級キャリア・コンサルティング技能士の会」のホームページにある過去問の詳細な傾向分析を参考に、自分の弱点分野を把握しました。

### (2) 論述

- ・10月に「1級キャリア・コンサルティング技能士の会」の講座を受講して、論述試験の取り組み方はある程度わかってきましたが、私の場合、解答をまとめるのにとっても時間がかかりました。11月下旬に「論述対策講座」を受講しました。自分で苦心して解答を作った後にグループで共有するので、解答とすべき表現を自分のものにでき、また自分の見立てで抜けているポイントを自覚できるなど、非常に勉強になりました。

## 4 試験当日の状況（12/13）

### (1) 学科

- ・正しいものを選ぶのか、間違っただけのものを選ぶのか、勘違いしないように、問題文に下線を引きました。選択肢で自信があるものには○か×を、自信がないものには△をつけていきました。見直しでは、△だけを見ました。過去問を検討する時から、この習慣をつけるようにしていました。

### (2) 論述

- ・選択問題は企業分野を選びました。解答しにくい場合は、教育か需給調整を選んでもいいかと考えてはいましたが、問題文を読んで、迷いなく企業分野にしました。
- ・解答として書きたいポイント、キーワード、キーフレーズを、問題用紙の余白に書き出していき、全体の流れがストーリーになるように整理して、文章にしていきました。

## 5 面接の準備について（12月後半以降）

- ・10月の「1級キャリア・コンサルティング技能士の会」の対策講座で、面接実技の4つの評価区分について教えていただきましたので、そのことをベースにして、12月後半から面接の準備を始めました。システムチェックアプローチがある程度身につくまで、4つの評価区分が理解できるようになったのは、1月末です。録音しておいた自分の面談を何度か聴いて、自分のスタイルを知ることができました。

## 6 面接試験当日の状況（2/11 午後）

- ・試験当日、午前中はこれまでの資料やノートを読み直し、試験の1時間くらい前からは、目の前のCCに集中するため、五感（耳など）でとらえる感覚に集中しました。
- ・実技試験の詳細は、
  - （1）試験会場 東京
  - （2）試験官 男性1名 女性1名
  - （3）事例番号 2（大手書店で働いているがデザインの仕事をしたい）
  - （4）ロールプレイの時間 30分
  - （5）口頭試問の時間 7分くらい
- ・CC役は30代の女性で、明るい感じで、よく話をしてくれました。事前にケース2のCC像を予想していましたが、実際に面談してみると様子がかかなり違っていました。
- ・面談の前半は、主にCLのキーワードに焦点を当てて聴いていきました。CCがCLからしっかり聴けていたことについて、承認していきました。また、具体的にCCが情報提供をして次の面談の準備もしていたので、方策を展開していく流れを意識して作っていることを承認しました。
- ・面談時間が20分近くになった頃、要約を入れて、CCとして出来ているところ、もっとよい支援にするために必要なことを伝えました。その後、2回目の要約をして、目標設定し、具体的方策に移りました。CCとして能力を上げる方策についてやり取りをし、最後に『今日の事例指導はいかがでしたか』と質問しました。
- ・口頭試問では、①「できたこと、できなかったこと」、②「このCCの課題は何か」、③「どのように目標設定や共有をしたか」、④「このCCに必要なことは何か」、⑤「あなたに必要なことは」という質問が続きました。

## 7 これから受検する人へのアドバイス

### （1）学科

- ・難問奇問にまどわされず、確実に70点を取ることが大事だと思います。学科の対策としては、『キャリアの青本』が最も効率的な学習方法だと思います。

### （2）論述

- ・自分の手で解答を書いていく練習は、何度もやっておくのがよいです。また、仲間と勉強会をすると、自分の解答の足りない点が分かるので、お薦めです。

### （3）面接

- ・「1級キャリア・コンサルティング技能士の会」の「面接講習」は、木村先生が「型」をしっかり教えてくださったので、掘って立つ基本ができたと思います。また、4つの「評価区分」の意味と内容を理解できると、ロールプレイをする時にどういった工夫をしたらいいかを自分で考えることができるようになります。

以上